



いちご組だより



社会福祉法人尚徳福祉会 おぐら保育園

2025年度3月



春の到来を感じる季節となりました。まるで子どもたちの成長を喜びかのように園庭の桜の木々のつぼみや小さな花が芽吹き始めています。

保育園に入園してからあっという間に1年が経とうとしています。初めての保育園での生活にもだいぶ慣れてきて、当初のような新しい環境で不安そうな顔を見せていた姿が、今では名残惜しくさえも感じています。残り1か月も楽しく、元気に過ごしていけたらと思います。



こんなにできるようになったよ！

- ・自分で靴下や靴を脱いだり、衣服の袖を抜こうとしたりして、身の回りのことに挑戦してみようとするようになりました。
- ・生活の流れが少しずつ分かってきて、先生の声掛けを聞いて動いたり、周囲の様子を見て自分で気付いてやってみようとしていたりします。
- ・手づかみやスプーンを使って自分の力で食べることができるようになりました。
- ・お友だちの名前を覚えて呼んだり、泣いている姿を見かけると優しく頭を撫でて気に掛けたりします。
- ・簡単な言葉を復唱したり、先生とのやりとりを楽しんだりしています。
- ・お友だちの使っている玩具や遊びに興味や関心が広がってきて、一人遊びからお友だちとの関わりが少しずつ見られるようになってきました。

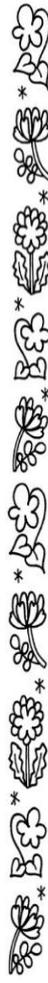


氷触ってみたよ！

ベランダにタライを置いて、そこに水を張ると氷が出来ました！最初は周囲の様子をうかがいながら慎重に触る子、不思議そうに見つめる子、興味津々で自分から進んで触ってみる子など、さまざまな姿が見られました。冷たい感覚や感触を楽しんでいましたよ！

いないいないばあ！

「いないいないばあ〜！」「あはは」という元気な声が室内に響き渡る、午睡前。お友だち同士で棚越しから顔を覗かせるようにして上手にいないいないばあを繰り返し楽しんでいました。ふとお友だちと目が合うたびに大笑い！笑いが絶えない、そんな微笑ましい姿に、私たちもとても癒されました。



～保育のご理解とご協力いただきありがとうございました。～